

恵飛須委員（自民議連）

令和3年3月9日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）通信制高校の近年の傾向について

高等学校の選択について、全日制・定時制高校の生徒が年々減少し、通信制高校への進学者が大幅に増加傾向にあることについて、どのように分析をし、どのような見解を持っているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

近年、中学校卒業生数が減少する中であって、高等学校の通信制課程への進学者が増加している背景には、通信制課程が、従来のような勤労青少年だけでなく、不登校傾向のあった生徒や自らの夢にチャレンジしようとする生徒など、様々なニーズに対応する役割を担うようになってきていることがあると認識しております。

こうした通信制課程の役割の変化も踏まえ、平成30年には、県・市が共同で、従来の定時制と通信制課程の枠組みに捉われない、フレキシブルな学びを提供する新しいタイプの高等学校として、広島みらい創生高等学校を設置し、例えば、自己の在り方や生き方を考察し、進路等に応じて様々な教科・科目の中から選択することができるカリキュラムの編成など、特色ある教育活動を実践しているところでございます。

県教育委員会といたしましては、引き続き、個々の生徒の事情やライフスタイルに応じた多様な学びの場を提供してまいります。